

編 集 後 記

平成 29 年度の『人間社会学部紀要』は、各学科が新しい取り組みに積極的に動いている様子が伺え今後の発展に期待できる。一方で、論文の投稿数 7 本は、教員の研究活動を紹介するには十分とは言えないかもしれない。人間社会学部では、前・後期に人間社会学部研究会を開催しており、そこでの報告も研究紹介の形として、今後は掲載できることが望ましいように思われる。ご多忙の中、ご投稿ならびに編集を担当された先生がたに感謝申し上げますとともに、学部教員の一層の研究・教育の邁進を願っている。(志摩)

心理学科からは、今号へ論文 1 本の投稿があり、厳正な査読を経て掲載の運びとなった一と書いてはみたが、拙稿なので何とも決まりが悪い。実は心理学科教員から投稿がなく、「これはまずだろう」と思い、編集委員が突貫執筆したものである。査読の先生にはご無理をお願いし恐縮であった。他学科でもご同様と拝察するが、心理学科は時流に棹差すのに大童で、紀要論文に投稿するのは皆さんなかなかしんどい状況である。心理学科は何十年に一度と言える大波一国家資格「公認心理師」新設への対応に追われており、この 1 年、カリキュラム改定の作業に注力してきた。文科省・厚労省によるカリキュラム案の発表は遅れに遅れ、見切り発車せざるを得ない一面もあったが、充実した新カリキュラムが完成し、来る平成 30 年度から全国の大学に遅れをとることなく公認心理師養成に踏み出せることとなった。大学院とも連携し、力量に富んだ公認心理師を輩出することが今後の課題である。また新カリキュラムでは公認心理師対応だけでなく、従来のアクティブ・ラーニングへの取り組みをさらに進めて、プロジェクト・ベースド・ラーニングを視野に入れた「心理学総合演習」を新設する。地域での課題解決を通じて、企業でも役に立つ実践的な力を身に着ける機会を学生に提供する。新カリキュラム開始により、4 月から教員はますます忙しくなりそうである。ですが先生方、学苑への投稿もひとつよろしく願います。(今城)

現代教養学科からは、今号へ 3 本の投稿をいただいた。図書館員養成のための教育科目案の検討に関する論文 1 編、子育てにおけるサポートネットワークの形成とソーシャルメディア利用との関連性における地域差を考察した論文 1 編、司書教諭によるカリキュラム支援認識の形成過程を分析した研究ノート 1 編が掲載されることとなり、ご投稿くださった先生方に感謝申し上げる次第である。また、査読をお引き受けくださった先生方、並びに校正にご尽力くださった近代文化研究所編集室のみなさまに心より御礼申し上げたい。本学科での学びが幅広い分野に関わり、専任教員の専門分野もまた多様である中、本号もそれらの一端を映すものということになろうが、今後ともさまざまな分野での研究成果が発表されていくことを期待したい。(横谷)

福祉社会学科からは今号へ 1 本投稿を頂いた。まず執筆者・査読者の先生方に篤く御礼申し上げる次第である。若杉・高橋論文は、回復期リハビリテーション病棟における転院支援について、現在の診療報酬の中では、成果主義ゆえに高い回復率を見込むことができる患者のみを選別するメカニズムがあるのではないかと、そしてそこでの MSW の実践はどのような形で行われているか、を論じており、社会的課題を提起する大変興味深い論文である。現状の制度を受け入れて粛々で行うのがソーシャルワーク実践ではなく、時に制度や体制に抗いながらも、クライアントの権利を守るために奮戦・活動するという MSW の姿が浮かんでくる論文であり、福祉社会の在り方を考えるうえで学生の学習にも参考になるものであろう。(吉田)

初等教育学科では、今号に論文 1 編、研究ノート 1 編の投稿があり、厳正な査読を経て掲載の運びとなった。執筆のお二人はどちらも今年度初等教育学科に着任されたばかりの新進気鋭の研究者である。初年度繁多の中、執筆下さったことに心より感謝申し上げます。1 編は、小学校「総合的な学習の時間」の授業計画を、ヴィゴツキー、エンゲストロームの文化-歴史的活動理論に基づく学習モデルから構築し、その有効性を考察したものである。もう 1 編は、昭和初期の婦人雑誌のテキスト分析から、当時の「花嫁修業」という行動規範の成立について考察したものである。学校教育と社会教育、二つの視座からの教育論稿が揃った。今年度初等教育学科は、教職課程の再課程認定に向けて、教員養成学科としての適合性と独自性をあらためて考える一年となった。教職課程カリキュラムを見直し、改訂を加えるとともに、それぞれの教員が、担当する科目と自身の研究との整合を図ってきた。多忙を極める一年を過ごしたが、新課程に向けて万全のスタートを切る準備は整った。(木間)

編集委員 今城周造・横谷弘美・吉田光爾・木間英子

☆掲載論文の無断転載を禁じます。

| | | |
|-----------|----------------|--------|
| 学苑 | 定価 | 九百二十八号 |
| | 八六四円(本体八〇〇円) | |
| 購読料 | 一カ年分 | 一〇三六八円 |
| | (本体) | 九六〇〇円) |
| 印刷所 | 平成三十年一月二〇日 | 印刷 |
| | 平成三十年二月一日 | 発行 |
| 編集発行人 | 猪熊雄治 | |
| | 三秀舎 | |
| 発行所 | 昭和女子大学 | |
| | 近代文化研究所 | |
| 〒154-8533 | 東京都世田谷区太子堂 | |
| | 一ノ七ノ五七 | |
| 電話 | 03 (三四一一) 五三〇〇 | |
| | | |